

# 【連載・県立高校の今】 第2回 行徳高校・市原高校（地域連携アクティブスクール）

県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室

## 1 地域連携アクティブスクールとは

県教育委員会では、平成24年より新たなタイプの学校として「地域連携アクティブスクール」を設置している。「地域連携アクティブスクール」は、中学校で能力を発揮できなくても、高校では頑張ろうとする意欲をしっかりと受け止め、地元企業や大学と連携するなど地域の教育力を活用し、明るく活力ある高校生活が送れるようにするとともに、地域とともに歩む自立した社会人として社会に送り出していくシステムを備えた学校である。

「地域連携アクティブスクール」では、学校と地域が協働し、「学ぶ意欲に応えるきめ細かな学習指導」「実践的なキャリア教育」「地域との連携」「独自の入学者選抜」「教育相談体制」の五つを柱として、確かな基礎学力や社会的・職業的な自立の基盤となる能力・態度を養うとともに、きめ細かい教育相談体制により生徒の成長を支える指導の充実を図っている。

令和5年度現在、泉高校、船橋古和釜高校、流山北高校、天羽高校の4校が「地域連携アクティブスクール」に指定されており、令和4年3月に策定した「県立高校改革推進プラン」において、地域バランスや生徒や保護者等のニーズを踏まえ、新たに4校程度設置することとした。

本稿では、「第1次実施プログラム」により令和6年度から新たにアクティブスクールとなる行徳高校、市原高校の2校に、それぞれの取組について紹介してもらった。

## 2 行徳高等学校



### (1)教育課程について

行徳高校では、令和4年度入学生から、学ぶ意欲にこたえる学習指導として、国数英3教科の基礎科目を1、2年生にそれぞれ1単位ずつ、各学年3単位の計6単位を学校設定科目として設定し、一つのクラスを二分割した少人数展開によって、中学校の学び直しや1年次の復習を行っている。また、職業選択や将来の職業生活を営む上で必要な態度や能力を培うことを目標とした学校設定科目「ソーシャルリテラシー」を平成25年度より展開している。この授業では、生き方や進路について考察し、豊かな社会を築くために積極的に社会に寄与する意欲や態度を育成してきた。現在の新教育課程では、この「ソーシャルリテラシー」を「総合的な探究の時間」を利用して学ばせ、生徒自らが社会を生き抜く「生きる力」の育成を目指している。

## (2)進路指導について

令和4年度実績で、大学へ19%、専門学校へ33%の生徒が進学し、32%の生徒が就職している。明確な目的意識を持った進学、就職に導くために、進路ガイダンス、適性検査、礼法指導等を充実させ、社会人として必要な能力や態度を育成してきた。

## (3)地域連携アクティブスクールにむけて

行徳高校では元来、学び直しや社会に貢献できる生徒の育成に尽力してきた。今回の設置によって、地域との連携を重視することが重要となり、近隣の大学との連携による学習ボランティアを1年生の基礎科目に導入し、現行の少人数制よりさらにきめ細やかな指導体制のもとで、学習に対する自信をなくしている生徒に少しでも自信を持たせていきたい。

また、これまで行っていなかったインターンシップを2年生の希望者に行うこととし、地域企業と連携することでキャリア教育の充実を図り、社会的・職業的な自立に向けての必要な能力や態度を育成していきたい。

## 3 市原高等学校

～あなたの「がんばる」気持ちに、全力で、本気で応えます～

小湊鐵道「上総牛久駅」から徒歩10分、国道297号沿いに本校がある。平成31年4月に鶴舞桜が丘高校と市原高校が統合し、現在は普通科と園芸科が設置され、特色のある教育活動を行っている。市原市や市原商工会議所などと提携した地域に根ざした教育活動や、コース制カリキュラム（普通科：普通コース・商業コース・福祉コース／園芸科：野菜コース・草花コース・緑地管理コース）による専門的・体験的な教育活動が本校の魅力である。

さて、本校では、令和6年度入学生から地域連携アクティブスクールが設置される。中

学校で頑張ってきた生徒はもちろん、中学校で十分な力を発揮できなかったけれど、高校では頑張ろうという意欲を持った生徒も、企業や大学など様々な地域の教育力を活用しながら、「確かな学力の向上」を図り、「実践的なキャリア教育」を通して自立した人間性豊かな社会人に育成していく。

そのため、本校では以下の点に重きを置いている。

### (1)「できた」、「わかった」と納得するまで面倒をみる、きめ細やかな学習指導

- ①学校設定科目「ステップアップ」の導入による基礎学力の定着
- ②少人数、チームティーチングによるきめ細やかな学習指導

### (2)職業観や勤労観を育てる実践的なキャリア教育

- ①各種進路ガイダンス、企業説明会
- ②ゴルフ場や工場系企業などの見学
- ③ソーシャルスキルトレーニング
- ④学科・コースを生かした資格取得

### (3)市原市、市原商工会議所、企業や大学など多様な地域連携

- ①地域をテーマとした市原地域探究
- ②ゴルフ体験（1年生全員）
- ③学科・コースを生かした地域連携
- ④ボランティア活動

### (4)スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー配置など充実した教育相談体制

### (5)人間性を重視し、生徒の意欲や思いをみる、独自の入学者選抜

生徒の「がんばる」気持ちに応え、生徒一人一人の可能性を伸ばせる学校、地域に根ざし、地域に学び、地域を拓く人を育む学校を目指していく。